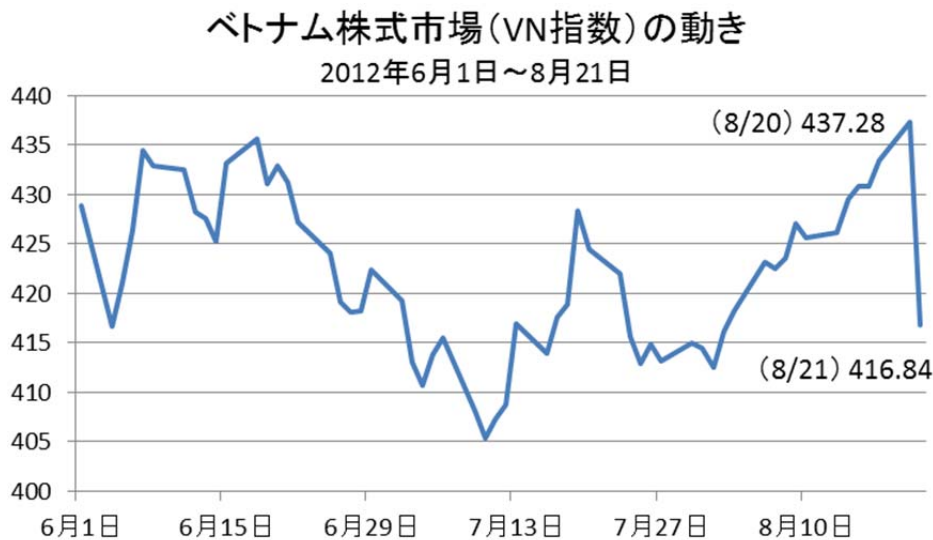


2012年8月21日ベトナム株式市場の急落について

■ ベトナム株式市場の動き：4.7%下落

8月21日、ベトナム株式市場の動きを表すVN指数は、前日比▲20.44ポイントの416.84ポイントとなり、約4.7%下落しました。



データ：Bloomberg

■ 下落の要因：アジアコマーシャル銀行、元副会長キエン氏の逮捕

21日朝、アジアコマーシャル銀行の元副会長であるグエン・ドゥック・キエン氏が逮捕されたと報道されました。同氏は、元アジアコマーシャル銀行創立委員長兼投資審査委員会会長であり、アジアコマーシャル銀行、キエンロン銀行、エクシムバンクの株式を保有しています。ベトナム公安省の防犯警察総局によると、20日夜、ハノイにある同氏の自宅を家宅捜索し、関連書類を押収のうえ逮捕、現在、金融関連活動に関する調書を取っています。この件で、アジアコマーシャル銀行のリ・ソン・ハイ社長も情報提供や捜査協力を要求されているとのこと。株式の不正取引があったと推測されておりますが、逮捕理由の詳細はまだ正式に発表されていません。

キエン氏の逮捕に関し、アジアコマーシャル銀行では、「今回の件は当行とは関係なく、また同氏の当行株保有比率は5%未満にすぎず、経営にも関与していないため、当行への影響はない」と述べています。

市場では、同氏の逮捕が経済に打撃を及ぼすとの警戒感でセンチメントが大きく悪化、ほぼ全面安の展開となりました。

■ 今後のベトナム市場の見通し:

逮捕理由等の詳細はまだ公表されていないものの、この件による、市場での全面安の様相は一時的な狼狽売りであるものと考えています。また、現地の市場関係者の間では、中央銀行が銀行支援や市場へのキャッシュフロー注入を促す措置を打ち出す公算が大きく、下げ局面は短期間なものにとどまるとの大方の見方が出ています。

ベトナム株式市場のバリュエーション面では、株価収益率(PER)は8月21日現在で10.1倍となっており、これは、先進国市場である米国(S&P500)の14.3倍や、新興国であるインド(SENSEX指数)15.4倍、上海(総合指数)11.4倍などと比べても割安な水準にあります。また、ベトナムでは長年の懸案であった貿易収支が改善し、今年は単月黒字化の月も増えています。インフレ率についても昨年8月の前年同月比23%をピークに低下傾向が顕著で(2012年7月は5.35%)、これを背景にベトナム政府は金融緩和など景気浮揚策を採ってきております。

経済成長率も2011年5.9%と高く、IMFでは2012年5.6%、2013年6.3%、2017年7.5%と今後も高い経済成長を予測しています。このような観点から、ベトナム市場は、長期的に、魅力のある市場であると、弊社では見えています。

<当資料に関するご注意>

- 本資料はキャピタル アセットマネジメント株式会社が情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品の売買を推奨・勧誘するものではありません。
- この資料におけるデータ・分析等は過去の実績に基づくものであり、将来の運用成果および市場環境の変動を保証・示唆するものではありません。
- 本資料はキャピタル アセットマネジメント株式会社が信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

<投資信託に関するご注意>

■投資信託に係わるリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象としております。当該資産の市場における取引価格や為替レートの変動等により基準価額は影響を受けるため、損失が生じる可能性があります。したがって、金融機関の預金とは異なり元本が保証されているものではありません。

また、ファンドは預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではなく、信託財産に生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。第一種金融商品取引業者以外の金融機関は投資者保護基金に加入していません。

購入の申込みにあたりましては「投資信託説明書(交付目論見書)」を予めあるいは同時におわたします。必ず内容をご確認いただき、ご自身でご判断ください。

■投資信託に係わる費用について

①お申込時に直接ご負担いただく費用 申込み手数料： 上限 3.675%(税抜 3.50%)

②ご解約時に直接ご負担いただく費用 信託財産留保額： 0.3%～0.5%

③投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬： 年 1.533%(税抜き 1.46%)～2.499%(税抜き 2.38%)

(ハイウォーターマーク方式による実績報酬 21%(税抜き 20%)がかかるファンドもあります。)

④その他費用

有価証券等の取引に伴う手数料(売買委託手数料、保管手数料等)、監査費用、
信託財産に関する租税、信託事務の処理等に要する諸費用等

※詳しくは各商品の「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

※ 上記のリスクについては、一般的な投資信託を想定しています。また、費用の料率等につきましては、
キャピタル アセットマネジメントが運用する投資信託のうちでの上限や範囲を示しております。

投資信託に係わるリスクや費用は商品ごとに異なりますので、ご投資をされる際には、事前に「投資
信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。